

公表

技能五輪全国大会 石工職種実施要領

第 1 章 実施上の注意

競技は、別に定める競技課題により行うものとするが、競技の実施について特に留意すべき事項は、次のとおりである。

なお、競技の実施形式及び競技時間は、次表のとおりである。

競 技 時 間	
標 準 時 間	打 切 り 時 間
1 0 時 間 0 0 分	1 0 時 間 3 0 分

1 競技の内容

みかげ石を使用して、競技課題に示す石製品を製作する。

2 競技前の準備

(1) 競技場の選定

- イ 天候に左右されず実施できること。
- ロ 床面積は、競技者1名当たりの作業場所が3m×3mを標準とすること。
- ハ 床は、土間又はコンクリート床等とし、床面が安定しているとともに、清掃が容易であること。
- ニ 競技実施に支障のない照度を得ることができること。
- ホ コンプレッサー及びグラインダが使用できる容量の電気設備が設置されていること。

(2) 競技用材料

競技場に準備する支給材料は、「第2章 設備基準」に示すとおりとするが、その準備に当たり特に留意すべき事項は、次のとおりである。

- イ 石の種類は、原則として、次表のとおりとする。

区 分	石 の 種 類
硬 石	花こう石（みかげ石）

- ロ 支給する石は、裏面及び下端面にねじれがなく、^{かね}矩になるように平面加工すること。

(3) 競技用設備

競技場に準備する設備は、「第2章 設備基準」に示すとおりとする。

(4) 競技場の整備

- イ 競技者の作業場所は、白墨等で区画し、競技番号を表示して、競技者の作業すべき場所を明示すること。
- ロ 支給材料は、各競技者の作業場所に配置しておき、数量等を点検し、確認しておくこと。
- ハ 作業場所は、競技者の作業修了の申告等が確認できるように配置すること。
- ニ 換気に配慮すること。
- ホ コンプレッサーは5馬力1台につき競技者2人とし、カプラー付きとする。

3 実施に当たっての注意事項

- (1) 競技開始前には、競技者が持参した工具等を点検し、使用工具等一覧表に記載されている以外のものは、使用させないこと。
- (2) 競技開始前には、4に示す「競技者に対する説明事項」を説明した後、競技者から質問を受けてもよいが、競技課題のヒントになるような質問には、一切答えないこと。
- (3) 競技中適当なときに、15分程度の休憩時間を午前1回・午後1回、一斉に与えることとし、その時期をあらかじめ競技者に周知させること。
なお、休憩時間は、競技時間には含めないものとする。
- (4) 次に示すときには、競技時間の経過を競技者に周知させること。
 - イ 競技開始時
 - ロ 標準時間の30分前
 - ハ 標準時間
 - ニ 打切り時間
 - ホ その他、休憩時間を設けた場合は、その開始時と終了時
- (5) 選手には防じんマスクの着用を徹底させること。委員、補佐員も防じんマスクを着用すること。

4 競技者に対する説明事項

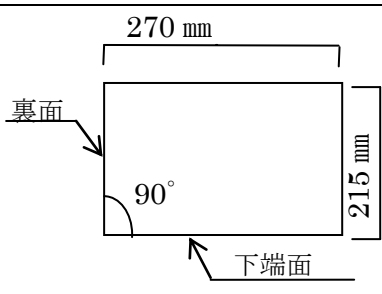
競技委員は、競技開始前に競技課題（注意事項、仕様等）を読み上げ概要を説明するものとするが、それに次の事項を必ず付け加えること。

- (1) 作業は、競技委員の合図で一斉に始めること。
- (2) 作業は防じんマスク、保護メガネを使用して行うこと。
- (3) 休憩時間の指示があったらこれに従うこと。
- (4) 作業終了後の後片づけは、作業時間には含まないものとする。
なお、後片づけは、競技委員の指示に従って行うこと。

第2章 設備基準

1 競技材料

競技場に準備する支給材料は、次表のとおりである。

品名	寸法又は規格	数量	備考
みかげ石	約 335 mm×215 mm×270 mm 裏面及び下端面は、直角に平面加工してあるもの	1	

2 競技用設備

競技場に準備する設備、器工具は、次表のとおりである。

品名	寸法又は規格	数量	備考
電動グラインダ	$\frac{1}{2}$ 馬力	競技者3人につき1台	工具の研磨用
テーブルタップ	125V・15A以下	適当数	
コンプレッサ	5馬力	競技者2人につき1台	
テンプレート	亜鉛鉄板製	各1	ゲージ(型板)

3 採点用器工具

採点に使用する採点用器工具は、次表に示すとおりとし、競技者数、採点者等に応じて、適当数を準備すること。

品名	寸法又は規格	数量	備考
スケール	JIS B 7516 300mm程度	適当数	寸法精度採点用
さしがね	JIS B 7534 呼び寸法300mm程度	〃	〃
時計	分単位の読めるもの	〃	作業時間採点用
テンプレート	亜鉛鉄板製	〃	競技者の使用したもの

第3章 採点基準

採点基準(採点用紙を含む)は、別に定める。